チンチン電車にこだまする地域一体のおもてなし

こころを込めて
我が社のおもてなし

京福電気鉄道株式会社

代 表 者／岡本 光司
住　　所／京都市中京区壬生賀陽御所町 3-20
TEL ／ 075-801-5315
URL ／ http://randen.keifuku.co.jp/

嵐電の愛称で、住民や観光客に親しまれる京福電鉄嵐山線。かぐわしい竹の香りと艶やかな京友禅の回廊に包まれた終着の嵐山駅は、食事や買い物を楽しむ人々、駅前広場やベンチでくつろぐ人々で賑わっています。インフォメーションセンターには多言語対応ができるスタッフが常駐。インバウンドのお客様へのサービスの向上とともに、沿線地域の魅力の発信にも力を入れています。

お客様への安全・安心はもちろん、均一制運賃や交通系ICカードシステムの導入など、便利にわかりやすくご利用いただくための施策のほか、桜のトンネルライトアップ、「妖怪電車」など、乗車時間をさらに楽しく過ごす仕掛けを実施。毎年12月に開催される「京都・嵐山花灯路」など、地域をあげた行事やイベントには積極的に参画し、地域一体のおもてなしを常に心がけています。

他の交通機関との乗り継ぎ利便の向上も進めています。平成20年の天神川駅での地下鉄東西線との結節に続いて、今年4月にはJR太秦駅から徒歩約3分の地点に撮影所前駅が開業。来春には嵐電西院駅と阪急西院駅が直結し、大阪・神戸方面から「西の京都」への移動・観光がよりスムーズになります。

「嵐電に乗れば何か楽しいことに出会える！そんなわくわく感を提供したい」。車窓から見える京都の町なみがゆっくり動き出せば、心躍る旅路の始まりです。

おもてなしの心粋

管理部（広報宣伝担当）部長 鈴木 浩幸さん

お客様への安全・安心・サービスの提供や、他の交通機関との便利な乗り継ぎに努める中で、地域の魅力を掘り起し、住んで良かった、来て良かった、と感じていただける、賑わいのある沿線地域づくり『沿線深耕』への取り組みをスタートさせました。嵐電沿線は観光資源が豊富で、国内外の多くのお客様にお越しいただいていますが、嵐電は観光路線であると同時に、地域に欠かせない生活の足でもあります。観光のお客様に対しては沿線地域一体のおもてなしで、何度も京都や嵐電沿線にお越しいただけるように取り組んでいますが、そのためにはまず、嵐電が地域の皆さまに愛されていなければなりません。**地域の皆さまが良いと認めるものは、きっと観光客も良いと感じてくださいます。**

観光振興と楽しい沿線地域づくりの両輪で、さらなる発展を目指していきたいと考えています。